

外務省
記録

自昭和十一年十月五日

在滿大使館教務部
關係雜件

第一

I
150
5

自昭和十一年十月五日

在滿大使館教務部
關係雜件

第一卷

I-0352

0005

極秘

357/505

在滿洲國大使館教務部規程

- 一 滿洲國駐節特命全權大使ハ滿洲國內ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ヲ行フニ付所部職員ヲ指揮監督ス
- 二 大使ハ所部職員ノ功過及進退ヲ外務大臣ニ具狀ス
- 三 滿洲内ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ニ關シ在滿洲國大使館ニ教務部ヲ置ク
- 四 教務部ニ教務部長ヲ置キ教務官ヲ以テ之ニ充ツ
- 五 在滿洲國大使館支出官ハ教務部及學校組合並學校組合聯合會補助金ニ關スル豫算ノ運用ニ關シ豫メ教務部長ニ對シ緊密ニ連絡スルモノトス
- 六 教務部ニ庶務課、教務課及保健課ヲ置ク
- 七 各課ニ課長ヲ置キ教務官ヲ以テ之ニ充ツ

課長ハ教務部長ノ命ヲ承ケ所管ノ事務ヲ掌理ス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 001

在滿大使館發給券

八 各課所管ノ事務左ノ如シ

- 一 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 二 機密ニ關スル事項
- 三 部長及部ノ官印ノ管守ニ關スル事項
- 四 文書ノ收發ニ關スル事項
- 五 人事ニ關スル事項
- 六 法規ニ關スル事項
- 七 豫算及決算ニ關スル事項
- 八 其他他課ノ主管ニ屬セサル事項
- 九 教務ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一〇 教育及學藝ニ關スル事項
- 一一 社會教育ニ關スル事項
- 一二 學校職員ノ監督ニ關スル事項
- 一三 學校組合職員ノ監督ニ關スル事項
- 一四 學校、幼稚園ニ關スル事項

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 002

I-0352

0006

六 學校組合ニ關スル事項
 七 教科用圖書ニ關スル事項
 八 神社及祭祀ニ關スル事項
 九 教員檢定ニ關スル事項
 一〇 専門學校入學者檢定ニ關スル事項
 保健課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 學校衛生ニ關スル事項
 二 學校体育ニ關スル事項
 九 教務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
 十 視學官ハ上司ノ命ヲ承ケ學事ニ關スル視察及事務ヲ掌ル
 十一 技師ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
 十二 體育官ハ上司ノ命ヲ承ケ學校体育ニ關スル視察及事務ヲ掌ル
 十三 教務書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
 十四 視學ハ上司ノ指揮ヲ承ケ學事ニ關スル視察及事務ニ従事ス
 十五 技手ハ上司ノ指揮ヲ技術ニ従事ス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 003

十六 體育官補ハ上司ノ指揮ヲ承ケ學校体育ニ關スル視察及事務ニ従
 事ス
 附 則
 本訓令ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 004

I-0352

0003

(原議用紙乙)

切協議乞フ
 記
 本日午後一時ヨリ事務局ニ於テ事務局、外
 務、拂積現地側關係者會同ニ教育
 務
 組織ニ付審議ノ結果、分課トシテハ庶務
 課、教務課、保健課ノ三課トシ、別ニ督学
 室ヲ設ケテ教務課ニ配置スルコトシテ、之ニ配

S 9150-6 005

(分類 1. 1. 1. 0. 5)

電 信 案	左記ノ通請訓致ニ付合ミ上 本日上京關係者ヨリ板垣委員長宛 山本書記官ハ福田ヨリ	電送第 1561 號 昭和十二年二月一日午後七時五分發 宛 在滿 植田大使 件 教務部職員組織 名ニ關スル件 第 四 八 號 發 有田大臣 記 尾崎大使館事務 名件録記 中	主 東亞局長 任 東亞第課長 昭和十二年二月一日起草
-------------	---	--	----------------------------------

S 9150-6 005

I-0352

0008

電信案

外務省

元アリ大体右ニテ止ムヲ得サル次第ト思料セラニ
ル元本件ニ關スル何分ノ儀抑回訓乞フ。

(原議用紙乙)

S 9150-6 008

電信案

外務省

スル職員ハ教務部長及雇ヲ除キ教務官
六、技師ニ、体育官一、視学官三、教務書
記一八、体育官補ニ、視学八、技手四、合
計四十五名ト一應ノ決定ヲ見タリ右ハ教
務部ノ分課及配置人員ヲ示スベク少ク且
地方駐在員ノ執ルベキ事務ハナルベク滿洲國
日系官吏ノ援助ヲ受ケントスル中央ノ方針ニ

(原議用紙乙)

S 9150-6 007

I-0352

0009

特扱

電信寫

昭和12 一九二八 略 新京 二日後發

本省 二月二日後着

林外務大臣

植田大使

第五六號 (至急)

貴電第四八號ニ關シ (教務部職員組織ノ件)

福田事務官へ山本ヨリ

現地委員會ニ於テ異存ナシ (了)

亞

外務省

S 9150-6 009

I-0352

00:00

ノ方
ノ方(含ム)ノ配分ニ付高等官ハ本省、事務
局間協議ニ於テ教務部長(差当リ兼任、教
務官兼任三、兼任三(ハ朝鮮一)共、技師兼任
(衛生)、兼任(建築)、体育官兼任一、視学官
兼任三、兼任一、ト一應決定見タリ。
判任官以下ハ現地側ニテ取極ムトナリ
タルヲ以テ上京関係者間ニ於テ教務書記專
電 信 案

S 9150-6 011

(分類)

電 信 案	電 送 第 1562 號	管 主 東亞局長
大 使 館 專 任 關 東 局 兼 任 (朝 鮮 總 督 府)	昭 和 12 年 1 月 7 日 後 7 時 0 分 發	任 主 表 達 課 長
山 本 書 記 官 へ 福 田 回 り	宛 植 田 大 使	發 電 係
往 復 第 四 八 號 へ 關 係	名 件 教 務 部 職 員 之 關 係 件	昭 和 十 二 年 二 月 一 日 起 草
	第 四 九 號	發 有 田 大 臣
	名 件 錄 記	

外 務 省

S 9150-6 010

I-0352

電信案

外務省

上取り敢へス申進ス。

機會ヲ捉へ得サルニ佐藤ニ課長ト協議ノ
 追テ本件未ク環田参事官ノ承認ヲ得ル
 ヲ乞フ(開東局側ニテモ總長宛請訓ノ答)

(原議用紙乙)

S 9150-6 013

電信案

外務省

任ニ、兼任六(内朝鮮一)、体育官補専任
 一、兼任一、視学専任五、兼任三(内朝鮮一)、技
 手専任二、兼任二、合計専任二〇、兼任一二
 (雇ハ全部専任)ト一應決定ヲ見タリ

判任以下ハ特ニ専任ヲ多カラシメタキモ諸般ノ
 事情上此種度ニ解決セムヲ得サレバ第ト
 思料セラシムル本件ニ關シ何分ノ儀也同訓

(原議用紙乙)

S 9150-6 012

I-0352

00:2

寫送先

秘書官 會計 文書 人事 調查 文書 情報 條約 通商 米亞 歐亞 東亞

次大臣 官

電信課長

昭 和 12 年 2 月 2 日

昭和12 一九二八 略 新 京 二 日 後 發
 本 省 二 月 二 日 後 着 亞

林外務大臣 植田大使

第五六號(至急)

貴電第四八號ニ關シ(教務部職員組織ノ件)

福田事務官へ山本ヨリ

現地委員會ニ於テモ異存ナシ(了)

外務省

S 9150-6 015

秘

特 扱

昭和12 一九二九 暗 新 京 二 日 後 發
 本 省 二 月 二 日 後 着 亞

林外務大臣 植田大使

第五七號(至急)

福田事務官へ山本ヨリ

貴電第四九號ニ關シ(教務部職員ニ關スル件)

異存ナシ關東局トモ聯絡済(了)

外務省

S 9150-6 014

I-0352

00:3

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

大臣 次官

電信課長

昭和12 二八一五 略 新京 十六日後發 亞
 本省 二月十六日夜着

林外務大臣 植田大使
 第一〇〇號

佐藤二課長へ山下ヨリ
 關東局ト協議ノ上教務部兼任者中朝鮮總督府側ノ分ハ教務官一、視
 學一ト致シタルニ付御了承請フ（教務書記一ハ東京ニ於ケル協議ノ
 際明確ヲ缺キタル儘取纏メタル次第モアリ今回朝鮮側ノ兼任者ハナ
 キモノト致シタリ）專任者ノ數ニハ影響之ナキニ付爲念（了）

S 9150-6 017

外務省

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

大臣 次官

電信課長

昭和12 一九二九 暗 新京 二日後發 亞
 本省 二月二日後着

林外務大臣 植田大使
 第五七號（至急）

福田事務官へ山本ヨリ
 貴電第四九號ニ關シ（教務部職員ニ關スル件）
 異存ナン關東局トモ聯絡濟（了）

S 9150-6 016

外務省

I-0352

00:4

至急



電信課長

發電係

16 16

管主 東亞局長 任主 東亞局長 昭和十二年三月十六日起草

(分類)

電 信 案	電送第 2323 號	昭 和 12 年 3 月 16 日 16 時 10 分 發
	宛 在滿	在滿大使館秘書部職員ノ件
外 務 省	第 八 〇 號	名 件 錄 記
	福田事務官へ佐藤ヨリ	林 大臣

教務部兼任職員中判任官(ニ付テハ)朝鮮ヨリハ教務書

記及視字各一名ヲ出スモトニ決定シタル様請解シ居ル処(滿)

外務省

S 9150-6 018

電 信 案	宛往電第四九号参照(周東局ニ於テ大使館ト協議ノ上)
外 務 省	視字一及ノミニ変更シタル趣討滿ノ部局ヨリ通知アリタルカ
	右ノ実ナリヤ大至急回電アリ度ニ

S 9150-6 019

I-0352

00:5

電信寫

17
2

昭和12 二八一五 略 新京 二月十六日夜着 亞

林外務大臣

植田大使

第一〇〇號

佐藤二課長へ山下ヨリ

陸東局ト協議ノ上教務部兼任者中朝鮮總督府側ノ分ハ教務官一、視
學一ト致シタルニ付御了承請フ（教務書記一ハ東京ニ於ケル協議ノ
際明確ヲ缺キタル傳取繼メタル次第モアリ今回朝鮮側ノ兼任者ハナ
キモノト致シタリ）專任者ノ數ニハ影響之ナキニ付爲念（了）

S 9150-6 020

I-0352

00:16



12.2.23
山本重光
入手ノ事

度不存ス

古
信
一

(昭和一二ニ一七)

一、本年度中書記生増員ニ關スル事

二、教務部ノ事務室ニ關スル事

三、教務部ノ「豫算書」入手ノ事

イ、右ニ對スル大藏省ノ査定狀況如何

ロ、教務部長一(當分兼任) 體育官一(兼任)ヲ如何ニ取扱ヒタルヤ

(註) 雇員八十四名、嘱託ハ六名ト承知ス

日采官吏手當旅費ハ三十九名分ヲ計上シアルモノト承知ス

四、大藏省へ提出十二年度組合補助其ノ他豫算ノ査定狀況

イ、學校組合ニ對スル分 三月分 一七五、九三ニ円

ロ、教育會補助ノ分 " 一一、〇六八円

ハ、私立幼稚園補助ノ分(見込ナキトキハ豫備費ニテ賄フコト) 五、三三九円

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 021

五、教務部職員ニ關スル「官制改正案」入手ノ事

イ、臨時職員設置制ノ追加カ一單行勅令カ

六、教務部將來ノ人事ニ關スル事

イ、高等官專任、兼任ノ配分豫定

ロ、專任高等官ノ採用心組(滿鐵其ノ他ヨリ)

ハ、列任以下ノ採用心組

七、教務部列任官ノ任免權ヲ大使ニ歸屬セシムル事及其ノ立法ニ關スル意圖

(註) 學校教員(列任待遇)ハ大使ノ任免ニ依ル(在外指定學校職員令ノ改正ニ依リ)

學校組合職員ニ付テモ同様大使ノ任免ニ依ル(學校組合令ニ制定スルコトニ依リ)

八、教務部ノ事務ニ關シ大使ニ於テ法規制定權(大使館令ノ如キ)ヲ有セシムル事及其ノ立法ニ關スル意圖

(註) 諸學事法規、私立學校規程等

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 022

I-0352

00:00

九、教務部事務執行ニ關聯シ熟考ヲ要スル點ニ關スル事

イ、參事官ト教務部長トノ關係

ロ、教務部長(又ハ大使)ト領事トノ關係

ハ、領事ト地方的學校組合トノ關係

一〇、勅令ヲ以テ公法人(學校組合)ヲ設クルコトニ關聯スル日滿條約附屬協定等ニ於ケル考慮ニ關スル件

一一、組合費徵收ヲ滿洲國側機關(個人ニ非ス)ニ委託スルコト、ナスニ必要ナル日滿間取極ノ方法ニ關スル事

一二、教務部規程ヲ警務部ノ例ニ倣ヒ定ムル方法ヲ採ルヤ

一三、各課事務分掌案ニ付テハ尙檢討ヲ加ヘ進テ送付ス

一四、學校組合職員ニ付地方待遇職員令ニ依ル待遇官吏トナス方法不能ニ代ルヘキ待遇方法(併官)ノ見込立チタルヤ

一五、學校組合實施期(十三年一月ヨリ)ニ變更ナキヤ

イ、大藏省(四月ヨリ)ノ意圖如何

一六、十二年度既定國庫補助ニ關スル事

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 023

イ、小學校補助(經常費) 六〇五〇〇〇圓

○從テ十二月迄ノ場合ハ四三三、七五〇圓(經常費ノ四分ノ三)及三五〇、〇〇〇圓計八〇三、七五〇圓トナル

ロ、中等學校(經常費) 四五〇〇〇圓

○從テ十二月迄ノ場合ハ三三、七五〇圓(四分ノ三)トナル

ハ、青年學校(經常費) 八〇〇〇圓

○十二月迄ノ場合ハ六〇〇〇圓(四分ノ三)トナル

右ノ方針ノ下ニ計劃ヲ進メ差支ナキヤ

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 024

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和12 四六七八 暗

新京 十二日後發
本省 三月十二日夜着

亞

佐藤外務大臣

植田大使

第一七四號

貴電第一二五號ニ關シ

教務部職員豫算中專任ノ分教務書記三ヲ削除兼任ノ分教務書記一、
技手一、體育官補一ヲ削除ノ趣ナル處右ハ十二年度ニ限り已ムヲ得
サルコトニ關東局トモ協議濟ニ付御了知アリ度シ(了)

外務省

S 9150-6 025

昭和十二年三月十五日

在滿大使館

澤田 參事官殿

東亞局第二課
佐藤 事務官

拜啓時下益々御清穰奉賀候陳者大使館教務部ニ要スル經費ノ追加豫
算計上方ニ關シテハ三月五日附拙信ヲ以テ申進メノ通大藏省ニ要求
致シ爾來折衝ヲ重ネ來リ候處本日電報致候通り年額一四九、七八〇
圓ト決定十三日正式ニ大藏省ニ追加豫算要求ノ手續ヲ了シ候間右内
譯別添御送付申上候

尙右豫算額決定ニ關シ左記諸點何等御參考迄ニ内報申上候 敬具

S 9150-6 026

外務省

I-0352

00:19

記

一、教務部職員數ニ付テハ既報ノ通但シ大使館學務課職員トシテ十一年度以降ノ豫算ニ計上セラレアル大使館理事官及教務書記生各一ハ之ヲ教務官及教務書記ニ流用スル建前ニテ追加豫算ニ於テハ右二名ヲ減員セラレアリ（十三年度以降ニ於テハ教務官及教務書記ニ引直ス豫定ナリ）

二、教務部專任職員ノ在勤加俸ニ付テハ三月五日附拙信申進メノ通七割、十一割ヲ要求シタル處關東局並ノ五割、八割ニ決定セラレタリ之ニ對シ當庸ヨリハ恩給加算ノ有無等ヲ理由トシテ關東局職員トノ差別的取扱ヲ要求シタルモ遂ニ容レラレス已ムヲ得ス之ヲ受託シタリ依テ專任教務部職員ニ對シテモ關東局職員並ノ恩給加算

外務省

S 9150-6 027

承認方内側ニ交渉致シ度キ所存ナリ

三、事務費中廳費ニ付テハ當方トシテハ在外公館並ノ建前ニテ豫算ヲ要求シタル處大藏省ニ於テハ本件職員カ行政官タルコトヲ理由トシテ關東局並ノ取扱ヲ主張シタルカ（從ツテ當方要求ノ雜費及渡切費ノ建前ヲ廢シ關東局並ニ廳費トシ又電信料モ廳費ヲ以テ支辨ス當方極力反對ノ結果雜費トシテ多少ノ余裕ヲ承認セラレタリ）

四、教務部職員ハ悉ク之ヲ現地採用スルコトトシ從テ赴任旅費及家族旅費ヲ認メス

五、出張旅費ニ付テモ關東局並ノ單價ニテ計算シ只多少ノ余裕ヲ見ルコトトシタリ

六、地所家屋借料ニ付テモ關東局並ノ宿舍料ノ建前ヲ採ルコトトス

外務省

S 9150-6 028

I-0352

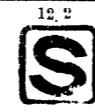
0020

七、初度調辨費ニ付テハ關東局ニ於テ自動車一台ヲ負擔スルコトシ
維持費ハ大使館負擔トス

八、日系官吏囑託ニ要スル經費ニ付テハ其ノ必要性ヲ説イテ極力主張
シタルモ遂ニ日系官吏囑託經費トシテハ承認セラレス已ムル得ス
應費雜費ニ一萬圓出張旅費ニ一萬圓（何レモ復活要求ニ依リ承認
セシム）ヲ増額セシメ右ニテ實際上本件經費ヲ支辨スヘキコトト
セリ（日系官吏三九人分トシテ一人當リ約五百圓トナリ原要求ニ
比シ一人當リ三百圓ノ減額ト成ルモ一人當リ五百圓アラハ何トカ
經理シ得ル見込ナリ）

以上

外務省



9150-6 029

I-0352

002 :

(B、一二、三、二七)

在滿洲國大使館ニ教務職員設置ニ關スル件

(勅令案)

朕在滿洲國大使館ニ教務職員設置ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、外務大臣副署)

第一條 滿洲國內ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ニ從事セシムル爲在滿洲國大使館ニ左ノ職員ヲ置ク

教務官 專任三人 奏任

内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

視學官 專任二人 奏任

技師 專任一人 奏任

教務書記 專任九人 判任

視學 專任五人 判任

技手 專任二人 判任

體育官補 專任一人 判任

第二條 第一條ノ職員ニ對シテハ左ノ加俸ヲ給ス

高等官 本俸ノ五割以内

判任官 本俸ノ八割以内



9150-6

031



9150-6

030

I-0352

0022

航空

東亞局
公機密第六七四號

昭和十二年四月二十日

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙

外務大臣 佐藤 尚武 殿

教務部關係準備事務處理ニ關スル件

本件ニ關シ本日關東局及滿鐵トノ間打合會ヲ開催シ別紙甲號處理
大綱及別紙乙號準備事項豫定等ヲ決定セリ尙二十一ヨリ逐次關
係法令案ノ審議ニ入り速ニ成案ヲ作成シ整備ノ分ヨリ送付ノ豫定
ニ付御了知相成度此段申進ス



昭和十二年四月廿四日接受
附 屬 添 付

在滿日本帝國大使館



9150-6 032

記

I-0352

0023

極秘

教務部關係準備事務處理大綱

二、方針

教務部ノ設置ヲ見ル迄ハ之ガ諸般ノ準備事務ハ大使館、關東局及滿鐵ノ三者協同シテ之ヲ處理ス

三、事務進捗豫定

概ネ別紙(一)ノ順序ニ依ル

三、事務處理ノ方法

(一)別紙(一)ニ掲グル事務ヲ處理スル爲メ大使館、關東局及滿鐵ヨリ左記委員ヲ選ビ諸般ノ調査研究立案ヲ爲ス

- 大使館側 山本書記官 高橋朝鮮課長 福田事務官
- 關東局側 三浦行政課長 成田事務官

滿鐵側 武田總務課長 田中事務課長 柏原總務課長

- (二)前項ノ委員ハ隨時協議會ヲ開キ各提案ノ審議ヲ爲ス
- (三)前項ノ協議會ニ出席スル者ニ應ジ他ノ關係者ヲ出席セシムルモノ
- (四)委員ノ成案ニ關シテハ夫々上司ノ決裁ヲ受ケ最後の決定ヲ爲スモノ

トス

備考

第一回會合ノ出席者ハ別紙(二)ノ通りトス

S 9150-6 034

S 9150-6 033

I-0352

0024

別紙 (二)

第一回聯合出席者

大使館側 澤田參事官 山本書記官 高橋朝鮮課長

福田事務官 辻津幸 囑託

關東局側 武部總長 三浦行政課長

成田事務官 前田理事官 (護理課長代理)

滿鐵側 郡山理事官 官澤地方部長 神守庶務課長

武田庶務課長 柏原視察

田中地子 囑託

極秘

教務部準備事項豫定表

乙 四月末日迄ニ完了スベキ事項

イ、事務及職員ノ基本勅令案ノ制定

ロ、特別任用令案

ハ、事務分掌等ニ關スル規程案

ニ、學校組合ニ關スル法規

ノ、學校組合令

ニ、同施行細則案

三、學校組合ノ配置及構成ノ大綱

ホ、在外指定學校職員令改正案及恩給關係法令改正案



9150-6

036



9150-6

035

I-0352

0025

三、五月末日迄ニ完了スベキ事項

- 1、教務部、學校組合及聯合會ニ引繼グベキ職員ノ引受具體案ノ作成
- 2、學校職員ノ引受具體案
- 3、教育會神職會等ノ改組案

三、六月末日迄ニ完了スベキ事項

- 1、十三年度豫算（六月十五日迄）
- 2、學校組合ニ關スル諸細則
- 3、組合ノ配置及構成
- 4、學費ニ關スル法規

四、七月末日迄ニ完了スベキ事項

- 1、學校組合職員ノ給與方法及諸規程

2、學校職員ノ給與方法及諸規程

3、職員住宅ニ關スル事項

五、八月末日迄ニ完了スベキ事項

- 1、十二年度（三ヶ月分）實行豫算
- イ、各組合（聯合會ヲ含ム）
- ロ、各 學 校
- ハ、施設引繼ニ關スル事項

2、神社ニ關スル法規

3、職員共済組合ニ關スル事項

4、組合事務所ノ開設準備

5、學校組合等ノ徵收事項其ノ他滿洲國ニ委託スベキ事項

S 9150-6

038

S 9150-6 037

I-0352

0026

備考

其ノ他處理スベキ事項

一、日系官吏委嘱手續

二、職員ノ福利施設ニ關スル事項



9150-6

039

I-0352

0027

外務省

一、庶務課長ハ專任トス
 二、教務部長專任ノトキハ教務課長ハ兼任トシ部長兼任ノトキハ教務課長專任トス
 三、保健課長ハ庶務課兼任教務官之ヲ兼任ス

12.5
 S 9150-6 041

六、九、五、三、ト協
 減原案通り
 決定、本室ニ
 打協ト交復方
 決定セリ



在滿大使館教務部職員配置案

(一、二、六、五)

計	保健課			督學室		教務課		庶務課		専兼	職務
	計										
六	三					一		二		専	教務官技
	三					二		一		兼	
二	一									専	師體育官
	一									兼	
一										専	視學官書
										兼	
三	二				二					専	記體育官補
	一									兼	
一八	二	一				四		六		専	視學技手
	六	一				二		二		兼	
二	一									専	計
	一									兼	
八	五				五					専	計
	三				三					兼	
四	二							一		専	計
	二							一		兼	
四四	二六	三			八		五	一〇		専	計
	一八	五			五		四	四		兼	
四四	四四	八			一三		九	四		計	計

S 9150-6 040

I-0352

0028

外務省

一、庶務課長ハ専任トス
 二、教務部長専任ノトキハ教務課長ハ兼任トシ部長兼任ノトキハ教務課長ハ専任トス
 三、保健課長ハ庶務課兼任教務官之ヲ兼任ス

S 9150-6 043

別紙
 號

大一小
 下教官
 午交協
 成多協
 セリ
 但し別紙
 ハ協成
 結果乙号
 通付正
 たり

計	保 健 課				教 務 課		庶 務 課		専 兼	職 名
	計	健	課	室	課	課	課	課		
六	三				一	二			専	教務官技
	三				二	一			兼	
二	一						一		専	師体育官
	一	一							兼	
一									専	官視學官
									兼	
三	二			二					専	書記
	一			一					兼	
一八	三	一	一	四	六	六			専	記体官補
	六	一	一	二	二	二			兼	
二	一	一							専	視學技手
	一	一							兼	
八	五			五					専	技手
	三			三					兼	
四	二	一				一			専	計
	二	一				一			兼	
四四	二六	三	八	五	一〇	一〇			専	
	一八	五	五	四	四	四			兼	
四四	四		一		一	一				計
	四	八	三	九	四	四				

在滿大使館教務部職員配置表 (佐藤私案)

S 9150-6 042

I-0352

0029

本火、通
修正、六
二、小、限、
行、送、
Vx

秘

在滿大使館教務部職員配置表

昭和拾貳年六月拾壹日

計	計	保 健 課	督 學 室	教 務 課	庶 務 課	職務	
						専 兼	技 師
六	三			一	二	専	教 務 官
	三			二	一	兼	
二	一				一	専	師 体 育 官
	一	一				兼	
一						専	視 學 官
						兼	
三	二		二			専	審 計 官
	一		一			兼	
一 四	九	一	一	三	四	専	記 体 育 官 補 視
	五	一	一	二	一	兼	
一	一	一				専	手 計
						兼	
八	五		五			専	技 手 計
	三		三			兼	
三	二	一			一	専	計
	一				一	兼	
三 八	二 三	三	八	四	八	専	計
	一 五	三	五	四	三	兼	
三 八	三 八	六	一 五	八	一		計

S 9150-6 045

別紙乙

課長ハ原則トシテ専任トス但シ教務部長専任ナル場合ハ例外トシテ
庶務課長ヲ兼任トシ庶務課上席専任教務官ヲ以テ保健課長ヲ兼任セ
シム

外務省

S 9150-6 044

I-0352

0030

女官ニテ会計課
ニ調査シテ係員ハ



外 務 省	教務書記 (判任)	技 (奏任)	視 (奏任)	教 (奏任)	官 名	採 用 條 件 案		
	一人年 九八五	一人年 三二〇〇	一人年 三二〇〇	一人年 三二〇〇	課 算 單 價			課 算 定 員
	八	一	二	二	俸 給			員 數
	五級	三級	六級	七級	六級	五級	四級	

(別紙第三號)

教務部職員採用案

昭和拾貳年六月拾日

S 9150-6 047

課長ハ原則トシテ專任トス但シ教務部長專任ナル場合ハ例外トシテ
庶務課長ヲ兼任トシ庶務課上席專任教務官ヲ以テ保健長ヲ兼任セシ
ム

外
務
省

S 9150-6 046

I-0352

003:

外務省

体 育 官 補 任 補 (判)	技 手 任 手 (判)	視 學 任 學 (判)						
一人年	一人年	一人年						
九八五	九八五	九八五						
一	二	五						
五 級	七 級	五 級	八 級	六 級	四 級	八 級	七 級	六 級
一	一	一	二	二	一	二	二	二

S 9150-6 048

I-0352

0032

極秘

東亞局長

駐滿大使館教務部

昭和十二年六月十四日起案
同 年六月十六日決裁

高 裁 案

在滿大使館教務部職員採用ニ關スル件

滿洲國ニ於ケル帝國ノ治外法權撤廢後日本側ニ於テ行フヘキ在滿日
本人子弟教育ノ機關トシテ設置セラルヘキ在滿大使館教務部職員ニ
付テハ曩ニ關係各省係官ノ間ニ別紙第一號ノ通内定ヲ見更ニ今般對
滿事務局トノ間ニ別紙第二號ノ通職員配置案ノ決定ヲ見タリ
右教務部專任職員ノ採用ニ當リ外務省トシテハ將來ニ於ケル事務ノ
圓滑ナル運用ヲ期スル上ニ於テ現ニ滿鐵ニ於テ學務ニ從事シ居ル職
員ノ中ヨリ詮衡スルヲ適當ト認メ居ル處滿鐵側ニ於テハ人事ニ對ス

分類I/5.0.5

外 務 省

S 9150-6 049

ル方針決定上必要アル趣ヲ以テ外務省ニ採用セララルヘキ階級別人員
至急承知シ度キ趣ナルヲ以テ本官今般新京出張ノ序ヲ以テ滿鐵側ニ
對シ豫メ人選方依頼シ置クコトト致シ度ク
又豫算トノ振合上之カ採用資格ハ大体別紙第三號ノ條件ヲ標準トス
ル様致シ度ク
右仰高裁
尙滿鐵職員任用ニ關スル特別任用令其ノ他ノ規程ニ付テハ關係方面
ニ於テ目下研究立案中ニ付爲念申添フ

S 9150-6 050

外 務 省

I-0352

0033

計	保健學務庶務				專兼	職務
	計	課	室	課		
六	三			二	專	教務官技師
	三			一	兼	
二	一			一	專	體育官視學官書記
	一				兼	
一	一				專	體育官補視學技師
	一				兼	
三	二		二		專	學技師
	一				兼	
一四	九	一	一	三	專	手計
	五	一	一	二	兼	
一	一				專	計
					兼	
八	五		五		專	計
	三		三		兼	
三	二	一		一	專	計
	一				兼	
三八	二三	三	八	四	專	計
	一五	三	五	四	兼	
三八	三八	六	三	八		計

教務部職員配置表

(別紙第二號)

S 9150-6 052

計	技視體教視體技教							區	分	員	數	專	任	兼	任	
	手	學	補	記	官	官	師									
三八	三	八	一	一	四	三	一	二	六							
二三	二	五	一	九	二	〇	一	三								
一五	一	三	〇	五	一	一	一	三								

教務部職員表

外務省

S 9150-6 051

外務省

視 (判 任學)	技 (判 任手)	体 (判 任補)						
五	二	一						
九八五	九八五	九八五						
一	一	一	二	一	一	二	三	一
六	七	八	四	六	八	六	八	五
級	級	級	級	級	級	級	級	級



12.5 9150-6 054

外務省

教 (務 任記)	技 (奏 任師)	視 (奏 任官)	教 (務 任官)	官 名	(別紙第三號) 教務部職員採用案
八	一	二	二	人員	
九八五	三二〇〇	三二〇〇	三二〇〇	人員	採 用 條 件 案
二	一	一	一	人員	
五	七	七	六	人員	採 用 條 件 案
級	級	級	級	人員	



12.5 9150-6 053

I-0352

0035

外務省

視 (判 任學)	技 (判 任手)	体 (判 任補)				
八級	四級	六級	八級	六級	八級	五級
三〇五〇	七五	七五	五五	七五	九五	五五
一五二五	七六	四〇	四四	六〇	七六	四四
四五七五	七一	三五	九九	三五	七一	九九
一	一	一	二	一	一	二

12.5 S 9150-6 056

外務省

教 (務 書 任記)	技 (奏 任師)	視 (奏 學 任官)	教 (務 任官)	官 名	教務部職員採用案 (参考)
七級	七級	七級	四級	採用資格	
八五	二一五〇	二一五〇	三〇五〇	本俸	
六八	一〇七五	一〇七五	一五二五	加俸	
一三五三	三二二五	三六三〇	四二二五	計	
二	一	一	一	人員	

12.5 S 9150-6 055

I-0352

0036

庶務課 教務部事務分掌(案)

- 一、機密ニ關スル事項
- 二、官印ノ管守ニ關スル事項
- 三、職員ノ進退及身分ニ關スル事項
- 四、恩給及諸給與ニ關スル事項
- 五、叙位叙勳及褒賞ニ關スル事項
- 六、文書ノ接受及發送ニ關スル事項
- 七、法規ニ關スル事項
- 八、豫算及決算ニ關スル事項
- 九、仕拂ニ關スル事項

外務省

11. 11 S 9150-6 058

差引 合計	差引 残	加俸		本俸		奏任官	判任官	計
		支 出 見 込 額	豫 算 額	支 出 見 込 額	豫 算 額			
六一二〇	二〇四〇	五九六〇	八〇〇〇	一、九二〇	一六〇〇〇			三、七六〇
五七九六	二五七六	一〇〇三二	一、六〇八	一、二五四〇	一五七六〇			二、四四六〇
一一、九一六	四六一六	一五九九二	二〇六〇八	七三〇〇	二四四六〇			三、七六〇

外務省

12. 5 S 9150-6 057

I-0352

0037

外務省

- 一〇 物品ノ出納、保管及調度ニ關スル事項
 - 一一 宿舍ニ關スル事項
 - 一二 其他他課ノ主管ニ屬セザル事項
- 教務課
- 一、教育及學藝ニ關スル事項
 - 二、社會教育ニ關スル事項
 - 三、學校職員ノ監督ニ關スル事項
 - 四、學校組合職員ノ監督ニ關スル事項
 - 五、學校、幼稚園ニ關スル事項
 - 六、學校組合ニ關スル事項
 - 七、教科用圖書ニ關スル事項
- 八、神社及祭祀ニ關スル事項
 - 九、教員檢定ニ關スル事項
 - 一〇 専門學校入學者檢定ニ關スル事項
- 備考 督學室
- 一、學事ノ視察ニ關スル事項
 - 二、教育ノ指導改善ニ關スル事項
 - 三、教育學藝ノ調査ニ關スル事項
- 保健課
- 一、學校衛生ニ關スル事項
 - 二、体育ニ關スル事項



9150-6 060

外務省

- 一〇 物品ノ出納、保管及調度ニ關スル事項
 - 一一 宿舍ニ關スル事項
 - 一二 其他他課ノ主管ニ屬セザル事項
- 教務課
- 一、教育及學藝ニ關スル事項
 - 二、社會教育ニ關スル事項
 - 三、學校職員ノ監督ニ關スル事項
 - 四、學校組合職員ノ監督ニ關スル事項
 - 五、學校、幼稚園ニ關スル事項
 - 六、學校組合ニ關スル事項
 - 七、教科用圖書ニ關スル事項



9150-6 059

I-0352

0038

(美濃全野紙)

朝鮮總督府事務分掌規程(抄) 訓令

第十條 學務局ニ學務課、社會課及編輯課ヲ置ク

學務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 教育、上下藝ニ関スル事項

二 教員ニ関スル事項

三 學校及幼稚園ニ関スル事項

四 朝鮮總督府觀測所ニ関スル事項

五 局内他課ノ主管ニ屬セザル事項

社會課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 社會事業ニ関スル事項

二 清生院及感化院ニ関スル事項

三 社會教育ニ関スル事項

四 青少年團及青年訓練所ニ関スル事項

在外公館

五 圖書館及博物館ニ関スル事項

六 經學院及明倫學院ニ関スル事項

七 郷校財産ノ管理ニ関スル事項

八 宗放及享祀ニ関スル事項

九 寺院ニ関スル事項

十 寶物、古蹟名勝天然紀念物等調査及保存ニ関スル事項

編輯課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 教科用圖書ニ関スル事項

二 民曆ノ出版及頒布ニ関スル事項



9150-6 062



9150-6 061

I-0352

0039

(美濃全野紙)

臺灣總督府州事務分掌規程(抄)訓令

第七條 地方課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

十一 兵事ニ関スル事項

第八條 教育課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 神社及神職ニ関スル事項

ニ 宗教的營造物、宗教的團體、僧侶、教師其、他宗教

ニ関スル事項

三 世宗、幼稚園、書房、図書館其、他學事ニ関スル事項

四 學校衛生及運動体育ニ関スル事項

五 國語普及ニ関スル事項

六 社會教育ニ関スル事項

七 賑恤、慈善、感化、救濟其、他社會事業ニ関スル事項

八 公設貨舖ニ関スル事項

在 外 公 館

九 軍人救護ニ関スル事項

十 行旅病死人取扱ニ関スル事項

S

9150-6 064

S

9150-6 063

I-0352

0040

(美濃全野紙)

台灣總督府官房並各局事務分掌規程(抄) 訓令

第十一系、ニ 文敎局ニ庶務係、督學室、學務課、編修課及社會課ヲ置ク

第十一系、三 庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 局内庶務ニ関スル事項

第十二系、四 督學室ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 學事ノ視察ニ関スル事項

二 敎育敎化ノ指導改善ニ関スル事項

三 敎育學藝ノ調査ニ関スル事項

第十三系、五 學務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 勅語謄本ニ関スル事項

二 學夜、幼稚園其ノ他學制ニ関スル事項

三 學校、幼稚園其ノ他學事ニ関スル事項

在外公館

四 敎員檢定ニ関スル事項

五 學校衛生ニ関スル事項

六 專門學校入學者檢定及委託試驗ニ関スル事項

第十四系、六 編修課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 圖書、編修、檢定及著譯ニ関スル事項

二 圖書ノ出版及拂下ニ関スル事項

第十五系、七 社會課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 神社及宗敎ニ関スル事項

二 獻穀ニ関スル事項

三 圖書館、博物館ニ関スル事項

四 敎化團體ノ施設、民衆娛樂ノ改善其ノ他社會敎育ニ関スル事項

五 軍事救護ニ関スル事項



9150-6 066



9150-6 065

I-0352

004:

										在外公館											六 賑恤救済、児童保護、失業救済、公設質舗其他ニ関スル事項	七 公益法人ニ関スル事項
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------------------	--------------

(美濃全野紙)



9150-6 067

I-0352

0042

臺灣總督府文獻局處務規程(抄)

第一章 事務分掌

第一系 庶務係ノ分掌事項左ノ如シ

- 一 機密ニ関スル事項
- 二 局内ノ人事ニ関スル事項
- 三 文書ノ接受、發送、編纂及保管ニ関スル事項
- 四 局長印並局印ノ管守ニ関スル事項
- 五 局員ノ俸給、給與等ニ関スル事項
- 六 其ノ他ノ室課ニ屬セサル事項

第二系 督學室ノ分掌事項左ノ如シ

- 一 學事ノ視察ニ関スル事項
- 二 教育放化ノ指導改善ニ関スル事項
- 三 教育學藝ノ調査ニ関スル事項

在外公館

第三系 庶務課ニ文書係、經理係、學事係及體育衛生係ヲ

置ク其ノ分掌左ノ如シ

文書係

- 一 勅語謄本ニ関スル事項
- 二 文書ノ收發及整理ニ関スル事項
- 三 印ノ法規、例規ノ整理、編纂ニ関スル事項
- 四 學事統計ニ関スル事項
- 五 庶務職員ノ人事ニ関スル事項
- 六 教員檢定ニ関スル事項
- 七 専門學校入學者檢定試験ニ関スル事項
- 八 諸委託試驗ニ関スル事項
- 九 委託生ニ関スル事項
- 十 (削除)



9150-6 069



9150-6 068

I-0352

0043

十一	會議ニ関スル事項
十二	他係ノ主管ニ属セサル事項
經理係	
一	學校幼稚園其他學事ノ豫算及經理ニ関スル事項
二	學事及幼稚園ノ土地建物ニ関スル事項
三	學事ニ属セサル經費ノ補助ニ関スル事項
四	對岸此ノ夜經費ニ関スル事項
五	州市街庄教育費調査ニ関スル事項
六	在外研究員ニ関スル事項
七	此ノ夜官制及附帶法令ニ関スル事項
學事係	
一	幼稚園及書房義塾ニ関スル事項
二	官、公、私立學校ニ関スル事項
在外公館	
三	師範及夜卒業者及退學者ノ服務義務並此ノ費用 償ニ関スル事項
四	對岸教育ニ関スル事項
五	地方視察ノ報告ニ関スル事項
六	講習會ニ関スル事項
七	留學生ニ関スル事項
体育衛生係	
一	此ノ夜衛生
二	學生生徒児童ノ身体検査ニ関スル事項
三	此ノ生生徒児童ノ体育運動ニ関スル事項
第三系ニ	
一	教科用図書ノ編修ニ関スル事項
二	教科用図書ノ檢査定ニ関スル事項

(美濃全縣紙)

S 9150-6 071

S 9150-6 070

I-0352

0044

三	教科用図書、使用認可ニ関スル事項	在 外 公 館
四	教科用図書ノ出版及邦下ニ関スル事項	
五	教育ニ必要ナル図書、編纂、著譯、出版ニ関スル事項	
六	辞典ノ編修及出版ニ関スル事項	
七	台湾史料編纂ニ関スル事項	
八	教育ニ関スル刊行物ノ調査ニ関スル事項	
九	教科書費豫算ニ関スル事項	
十	図書ノ出納保管ニ関スル事項	
第一案	社會課ニ社寺係、社會教育係、社會事業係ヲ置ク 其ノ分掌事項尤ノ如シ	
一	社寺係	
二	神社ニ関スル事項	
三	宗教ニ関スル事項	
三	大麻守札ニ関スル事項	在 外 公 館
四	獻穀ニ関スル事項	
一	社會教育係	
一	図書館及博物館ニ関スル事項	
二	青年團少年團及処女會其他放化團體ニ関スル事項	
三	成人教育ニ関スル事項	
四	国語普及ニ関スル事項	
五	生活改善ニ関スル事項	
六	民衆娛樂ニ関スル事項	
七	其他社會教育ニ関スル事項	
	社會事業係	
一	罹災救助、行旅病人、行旅死之人及窮民救助其他 賑恤救済ニ関スル事項	

(美濃全野紙)



9150-6 073



9150-6 072

I-0352

0045

在 外 公 館	<ul style="list-style-type: none"> 二 軍事故遺ニ関スル事項 三 感化院ニ関スル事項 四 児童保護ニ関スル事項 五 公設産婆ニ関スル事項 六 方面委員制度ニ関スル事項 七 公設質鋪ニ関スル事項 八 公益ヲ目的トスル住宅、浴場、宿泊所其他福利増進ニ関スル事項 九 職業紹介其他失業、救済及防止ニ関スル事項 十 社会事業ノ奨励及助成ニ関スル事項 十一 公益法人ニ関スル事項 十二 其他社会事業ニ関スル事項
------------------	--

(美濃全埠紙)

S 9150-6 074

I-0352

0046

事務大臣ヨリ訓令申進ノ次第有之候処同部課長ノ地位ニ関
 シテハ量ニ本官貴地出張ノ際予ハ所打合致是候通り
 一保健課長ハ度務課長兼任スルニ
 一庶務、警務兩課長ハ当分ノ間(教務部長カ兼任教務官ナ
 ル期間)専任教務官ヲ充テルニ
 ト致シ度キ所存ナレニ付テハ右方針ニテ同課長例ト折衝ノ上
 何分ノ儀所回示相煩シ度ク

S 9150-6 076

發信用執務用			
主信	1	2	3
附甲			
附乙			
附丙			
附丁			
備考			

懸案

機密

文書課長

文書課發送 昭和拾貳年七月八日 發送済

主 東亞局長 任主 東亞局長

機密 第半信 號 昭昭和拾貳年七月七日 日附 附屬

淨書 (原稿) (淨書)

正校 昭和 年 月 日 起草

發信人 東西局長 佐藤書記官

受信人 在滿大使館 山本書記官

件名 (在滿大使館教務部職員ニ関スル件)

件名録記

件名 在滿大使館教務部職員ノ任用方ニ関シテハ別途外
 詳啓益所清稷奉賀候

公務案

外務省

S 9150-6 075

7 171

I-0352

0047

尚
又当方トシテハ本署得ル限リ右方針ニテ進ミ度ト考テ前記
ニニ関シ同東局側ニ於テ課長ノ何シカテ兼任トスルコトヲ
未^レ我方申出ニ應セザル場合ニハ學務課長ヲ同東局側ニ添^ヘルモ
已^レテ得サルヘシト思考致展ニ付此點申出迄ニ申伝候
右方係^レ迄得費^レ候
為^レ具^レ

公 信 案

外 務 省

S 9150-6 077

I-0352

0048

機密

拜啓益々御清静奉賀候

陳者在滿大使館教務部職員ノ任用方ニ關シテハ別途外務大臣ヨリ訓令申進ノ次第有之候處同部課長ノ地位ニ關シテハ曩ニ本官貴地出張ノ際豫メ御打合致置候通り

一保健課長ハ庶務課長ノ兼任トスルコト

一庶務、學務兩課長ニハ當分ノ間（教務部長カ兼任教務官ナル期間）

専任教務官ヲ充ツルコト

ト致シ度キ所存ナルニ付テハ右方針ニテ關東局側ト御折衝ノ上何分ノ儀御回示相煩シ度ク

尙當方トシテハ出來得ル限り右方針ニテ進マ度キ考ナルモ前記ニニ關シ關東局側ニ於テ庶務、學務兩課長ノ何レカヲ兼任トスルコトヲ主張シ我方申出ニ應セサル場合ニハ學務課長ヲ關東局側ニ譲ルモ已ムヲ得サルヘシト思考致居ルニ付此點御含迄ニ申添候

外務省



9150-6 078

右御依頼迄得貴意候 敬具

昭和十二年七月七日

佐藤 外務省東亞局第二課長

在滿帝國大使館

山本 書記官殿

外務省



9150-6 078

I-0352

0049

御覽

拜啓 益々御清泰貴候

陳者在滿大使館教務部職員ノ任用方ニ關シテハ別途外務大臣ヨリ訓令申進ノ次第有之候處同部課長ノ地位ニ關シテハ舊ニ本官貴地出張ノ際豫メ御打合せ致置候通り

一保健課長ハ庶務課長ノ兼任トスルコト

一庶務、學務兩課長ニハ當分ノ間（教務部長カ兼任教務官ナル期間）

専任教務官ヲ充フルコト

ト致シ度キ所存ナルニ付テハ右方針ニテ關東局側ト御折衝ノ上何分ノ機御同示相煩シ度ク

尙當方トシテハ出來得ル限り右方針ニテ進ミ度キ考ナルモ前記ニ關シ關東局側ニ於テ庶務、學務兩課長ノ何レカラ兼任トスルコトヲ主張シ我方申出ニ應セサル場合ニハ學務課長ヲ關東局側ニ讓ルモ巴ムヲ得サルヘシト思考致居ルニ付此點御含括ニ申添候

外務省

12.5 S

9150-6 080

右御依頼迄得貴重候 敬具

昭和十二年七月七日

佐藤 外務省東亞局第二課長

在滿帝國大使館
山本 書記 官殿

外務省

12.5 S

9150-6 081

I-0352

0050

發信用執務用			
主信	1	3	4
附甲			
乙			
丙			
丁			
備考			

逐案

文書課長
文書課發送 昭和拾貳年七月八日 發送済 淨書
主任 東亞局長
主任 東亞局長 第二署
昭和拾貳年七月七日
昭和二 機密 第八二二號
日附 附屬
正校 (原稿) 淨書
昭和 年 月 日 起草

在滿 植田大使

在滿 植田外務大臣

名件錄記 名人信發

在滿大使館教務部職員任用方件

呈表ニ昭和十二年追加予算ヲ以テ承認セラレタル貴館教務部職員ハ大体別紙記載ノ條件ニテ現滿鉄紫帯同僚職員中ヨリ任用スルコトニ決定シタルニ付テハ滿鉄側ニ對シテ人選方歩交渉相成度

尚右人員及條件ハ今後特別任用令及經理其他ノ關係上多クノ變更ヲ見ルヤモ計リ難ク又本條件ハ最終的ノ決定ニハ非サレテ滿鉄側ニ於テ現狀其他ノ振込上總額ノ範圍内ニ於テ修正スルモ支障ナキ次第ニ付右併セテ管内ニ相成度

ヲ希望スルニ於テハ之ヲ認ム

S 9150-6 082 7 170

公文書案
外務省

S 9150-6 083

I-0352

005:

公 信 案		(判 任)	視 察			(判 任)	教 務 書 記	(奏 任)
	八 級	六 級	四 級	八 級	七 級	六 級	五 級	
外 務 省	二	一	一	二	三	一	二	

S 9150-6 085

公 信 案	技 師	(奏 任)	視 察 官	(奏 任)	教 務 官	官 名	(別 任)
	七 級	七 級	六 級	七 級	四 級	採 用 資 格	
外 務 省	一	一	一	一	一	採 用 人 員	

S 9150-6 084

I-0352

0052

公 信 案										体 育 官 補	(判 任)	技 手
										五 級	八 級	六 級
外 務 省										以上		
										—	—	—

S 9150-6 086

I-0352

0053

寫

亞二機密第八二三號
昭和十二年七月七日

在滿
特命全權大使 植田 謙吉 殿
外務大臣 廣田 弘毅

在滿大使館教務部職員任用方ノ件
曩ニ昭和十二年度追加豫算ヲ以テ承認セラレタル貴館教務部ノ職員
ハ大体別紙記載ノ條件ニテ現滿鐵學務關係職員中ヨリ任用スルコト
ニ決定シタルニ付テハ滿鐵側ニ對シ豫メ人選方御交渉相成度
尙右人員及條件ハ今後特別任用令及經理其他ノ關係上多少ノ變更ヲ
見ルヤモ計リ難ク又本條件ハ最終的ノ決定ニハ非サルヲ以テ滿鐵側
ニ於テ現給其ノ他トノ振合上給與總額ノ範圍内ニ於テ修正ヲ希望ス
ルニ於テハ之ヲ認ムルモ支障ナキ次第ニ付右併セテ御内示相成度

外務省

別紙添付

別紙

官名	採用資格	採用人員
教務官 (兼任)	四級	—
視學官 (兼任)	七級	—
技師 (兼任)	七級	—
教務書記 (兼任)	五級	—
視學 (兼任)	六級	—
	七級	三
	八級	—
	四級	—
	六級	—
	八級	二

外務省

9150-6 088

9150-6 087

I-0352

0354

	技 (判 任) 手
	體 (判 任) 官 補
	五 八 六 級 級 級
以 上	— — —

外
務
省



9150-6 089

I-0352

0055

電 信 案	フ	殘餘ノ事務ノ外、特別勘定剩餘金、兵事事務其他ノ打合セニ尙四、 五日ヲ要スルニ付目下ノ處十二日頃東京發歸任ノ見込、右御承認乞 フ	

S 9150-6 091

電 信 案	山本書記官へ福田ヨリ 教務部關係主要法規ニ關シ本省並對滿事務局ニ對スル説明ヲ終了ス (但シ組合職員ノ官吏待遇ノ件ニ付テハ依然見透シ付カス) 小官ハ	電送第 15587 號 昭和 12.8.6 日 午後 8 時 50 分發	管主 東亞局長 任主 東亞局第二課長
		件 教務部關係法規ニ關スル件	宛 在滿 植田大使
		第 五九四 號 名件録記	發 廣田外務大臣

S 9150-6 090

電信課長
 6 75
 本
 和十二年八月六日起草

I-0352

0056

秘

局長

人事課長

會計課長

東亞高等三課長

外務省
3

昭、一三八一九 佐藤記

第二編

佐藤

昭和二十一年八月二十日

在滿大使館教務部職員ニ關スル件

八月十八日滿鐵下田學務課長及榎原視學本官來訪在滿大使館山本書記官同席本件ニ關シ打合ヲ行ヒタルカ其ノ概要左ノ通り

- (一) 在滿大使館教務部專任職員トシテ滿鐵ヨリ採用スヘキ人員ニ付テハ本年六月本官新京出張ノ際在滿大使館ヲ通シ滿鐵ニ試案ヲ内示シ豫メ人選考慮方依頼シ置キタル處滿鐵側ニ於テハ同社現學務課員カ比較的高給ナル關係上當方提示ノ案ニテハ到底優秀ナル者ヲ選任スルコト不可能ナル趣ヲ以テ之カ對策トシテ
- (イ) 當方試案ニ對シ欠員數ヲ更ニ増加スルコト
- (ロ) 學校組合及聯合組合職員ヲシテ事實上教務部ノ事務ヲ扱ハシム

外務省

S

9150-6 092

ルコト

(イ) 特ニ學校衛生ノ方面ニ關シ滿側官吏ヲシテ大使館囑託ノ資格ニ於テ教務部ノ事務ヲ援助セシムルコト

ノ三項ヲ提案シタルニ付本官ハ我方ノ試案ハ豫算トノ振合上最後の案ナルヲ以テ給與ヲ之以上増加スルコトハ到底不可能ナリ從テ此種辦法ニ依ルコトモ詮方ナク又事務處理上必要ト認ム只(イ)ニ付テハ對大藏省及會計検査院トノ關係上及專任兼任職員數ノ振合上餘リニ欠員ヲ多クスルコトニハ贊成シ難シト述ヘ置キタリ
滿鐵側ニ於テモ右當方ノ主張ハ十分諒承セル趣ニテ更ニ考慮ノ上在滿大使館ト十分連絡シ改メテ何等申出ツヘキ旨ヲ約シタリ
右小澤事務官ヲ通シ對滿事務局側ノ意嚮ヲ照會シタル處別段異存

外務省

S

9150-6 093

I-0352

0052

ナキ趣ナリ

- (二) 學校組合ニ引繼カルヘキ學校教職員ハ採用後未タ五年ニ達セサル者大多數ヲ占メ居リ滿鐵ヨリ退職賜金ヲ支給シ得ス氣ノ毒ナル状態ナリ旁滿鐵ノ現給與ト將來ノ給與トヲ比較スルニ現在ノ本俸ニテ其ノ儘引繼クトセハ給與ノ低下ヲ來スヘキヲ以テ引繼ノ際ハ本俸ヲ約一割程度増加シ以テ給與ノ維持ヲ計リタシトノ希望申出アリタルニ依リ本官個人トシテハ既定ノ豫算内ニテ賄ヒ得ルナラハ別段異存ナキモ一應對滿事務局側ニモ連絡スル様申付ケ置キタリ
- (三) 學校教職員及組合職員等ノ共濟制度ニ付希望申出アリタルニ依リ曩ニ對滿事務局側ニ於テ同様申出ニ對シ應待シ置キタル趣ノ通
- (イ) 茲二三年間ハ右職員ノミノ釀金ニ依リ退職スルコト

外務省



9150-6 094

- (ロ) 其後ニ於テハ更ニ研究ノ上國庫豫算中ヨリ何等カノ補助金ヲ交付スルコト

トスルヲ可ト信スル旨答ヘタルニ滿鐵側ハ之ヲ諒承シタリ

- (四) (以下山本書記官ノミトノ打合) 教務部三課長ノ振合ニ付豫テ山本書記官ニ於テ關東局側ト打合セノ結果

(イ) 庶務課長ハ外務省側

(ロ) 學務課長ハ關東局側

(ハ) 保健課長ハ外務省側 (對滿事務局ニ於ケル打合ノ際ハ庶務課事務官ヲシテ兼任セシムルコトト爲シアリタルモ課長專任トシ庶務課ノ事務官ヲ兼任セシムルコトニ變更ス)

ニ一應決定シタル趣ナルヲ以テ之ニ同意シ置キタリ

外務省



9150-6 095

I-0352

0058

右ハ小澤事務官ヲ通シ對滿事務局側ノ意嚮ヲモ確メタル處異存ナ
キ趣ナリ

以
上

外
務
省



9150-6 096

I-0352

0059

秘

昭、一三八一九 佐藤記

在滿大使館教務部職員ニ關スル件

八月十八日滿鐵下田學務課長及柏原視學本官來訪在滿大使館山本書記官同席本件ニ關シ打合ヲ行ヒタルカ其ノ概要左ノ通り

(一)在滿大使館教務部專任職員トシテ滿鐵ヨリ採用スヘキ人員ニ付テハ本年六月本官新京出張ノ際在滿大使館ヲ通シ滿鐵ニ試案ヲ内示シ豫メ人選考慮方依頼シ置キタル處滿鐵側ニ於テハ同社現學務課員カ比較的高給ナル關係上當方提示ノ案ニテハ到底優秀ナル者ヲ選任スルコト不可能ナル趣ヲ以テ之カ對策トシテ

(イ)當方試案ニ對シ欠員數ヲ更ニ増加スルコト

(ロ)學校組合及聯合組合職員ヲシテ事實上教務部ノ事務ヲ扱ハシム

外務省

S 9150-6 097

ルコト

(イ)特ニ學校衛生ノ方面ニ關シ滿鐵官吏ヲシテ大使館囑託ノ資格ニ於テ教務部ノ事務ヲ援助セシムルコト

ノ三項ヲ提案シタルニ付本官ハ我方ノ試案ハ豫算トノ振合上最後の案ナルヲ以テ給與ヲ之以上増加スルコトハ到底不可能ナリ從テ此種辦法ニ依ルコトモ詮方ナク又事務處理上必要ト認ム只(イ)ニ付テハ對大藏省及會計検査院トノ關係上及專任兼任職員數ノ振合上餘リニ欠員ヲ多クスルコトニハ賛成シ難シト述ヘ置キタリ
滿鐵側ニ於テモ右當方ノ主張ハ十分諒承セル趣ニテ更ニ考慮ノ上在滿大使館ト十分連絡シ改メテ何等申出ツヘキ旨ヲ約シタリ
右小澤事務官ヲ通シ對滿事務局側ノ意嚮ヲ照會シタル處別段異存

外務省

S 9150-6 098

I-0352

3363

ナキ趣ナリ

- (二) 學校組合ニ引繼カルヘキ學校教職員ハ採用後未タ五年ニ達セサル者大多數ヲ占メ居リ滿鐵ヨリ退職賜金ヲ支給シ得ス氣ノ毒ナル状態ナリ勞滿鐵ノ現給與ト將來ノ給與トヲ比較スルニ現在ノ本俸ニテ其ノ儘引繼クトセハ給與ノ低下ヲ來スヘキヲ以テ引繼ノ際ハ本俸ヲ約一割程度増加シ以テ給與ノ維持ヲ計リタシトノ希望申出アリタルニ依リ本官個人トシテハ既定ノ豫算内ニテ賄ヒ得ルナラハ別段異存ナキモ一應對滿事務局側ニモ連絡スル様申付ケ置キタリ
- (三) 學校教職員及組合職員等ノ共済制度ニ付希望申出アリタルニ依リ候ニ對滿事務局側ニ於テ同様申出ニ對シ應待シ置キタル趣ノ通
- (四) 茲二三年間ハ右職員ノミノ豫金ニ依リ退職スルコト

外務省



9150-6 099

(四) 其後ニ於テハ更ニ研究ノ上國庫豫算中ヨリ何等カノ補助金ヲ交付スルコト

トスルヲ可ト信スル旨答ヘタルニ滿鐵側ハ之ヲ諒承シタリ

(四) (以下山本書記官ノミトノ打合) 教務部三課長ノ振合ニ付豫テ山本書記官ニ於テ關東局側ト打合セノ結果

(イ) 庶務課長ハ外務省側

(ロ) 學務課長ハ關東局側

(イ) 保健課長ハ外務省側 (對滿事務局ニ於ケル打合ノ際ハ庶務課事務官ヲシテ兼任セシムルコトト爲シアリタルモ課長專任トシ庶務課ノ事務官ヲ兼任セシムルコトニ變更ス)

ニ一應決定シタル趣ナルヲ以テ之ニ同意シ置キタリ

外務省



9150-6 100

I-0352

分 1/5 0.5
 機
 秘

機密號外
 昭和十二年八月二十一日
 在 滿
 日本帝國大使館一等書記官 山本 熊一
 外務省東亞局
 佐藤 二 課長 殿
 教務部組織勅令案ニ關スル件
 本件ニ關シ七月三十一日附拙信ヲ以テ申進ノ次第アル處附屬物添
 付誤リニ付別紙ト御取替相成度此段申進ス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 102

東亞局

在滿日本帝國大使館一等書記官 山本 熊一
 附屬添付

昭和十二年八月廿五日接受

外務省

右ハ小澤事務官ヲ通シ對滿事務局側ノ意稱ヲモ確メタル處具存ナ
 キ趣ナリ
 以上

12.7 S 9150-6 101

I-0352

0062

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ滿洲國駐劄特命全權大使ノ神社及教育事務ニ
關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

第一條 滿洲國駐劄特命全權大使ハ昭和十二年 月 日調印ノ治外
法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ關スル日本國
滿洲國間條約（假稱）附屬第一協定ノ規定ニ依リ帝國ニ保有セル滿洲
國內ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ヲ管理スベシ
大使ハ前項ノ事務ニ付内閣總理大臣及外務大臣ノ指揮監督ヲ承クベシ
第二條 大使ハ前條第一項ノ事務ニ付其ノ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ必

S 9150-6 103

要ナル命令ヲ發スルコトヲ得
大使ノ發スル命令ニハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ノ罰則ヲ附ス
ルコトヲ得
大使ノ發スル命令ノ公布ニ關スル規程ハ大使之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

S 9150-6 104

I-0352

0063

理由

滿洲國駐劄特命全權大使ヲシテ帝國ニ保有セル滿洲國內ニ於ケル神社及
教育ニ關スル事務ヲ管理セシメ且同事務ニ付命令ヲ發スルコトヲ得シム
ルノ必要アルニ由ル

S

9150-6

105

I-0352

0064

朕在滿洲國大使館ニ教務職員ヲ置クノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽



昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

滿洲國內ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ニ從事セシムル爲在滿洲國大使館ニ左ノ職員ヲ置ク

教務官	專任三人	奏任
視學官	專任二人	奏任
技師	專任一人	奏任
體育官		

教務書記	專任九人	判任
視學	專任五人	判任
技手	專任二人	判任
體育官補	專任一人	判任

勅任ノ官ニ在ル者教務官ニ兼任セラルル場合ハ之ヲ勅任ト爲スコトヲ得
體育官ハ奏任トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

S 9150-6 107

S 9150-6 106

I-0352

0065

理由

滿洲國內ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ニ從事セシムル爲在滿洲國大使館ニ教務官三人、視學官二人、技師一人、體育官、教務書記九人、視學五人、技手二人及體育官補一人ヲ置クノ必要アルニ由ル



9150-6 108

I-0352

0066



朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

勅令第 號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第十四條中「外務省電信官」ノ次ニ

「在滿洲國大使館教務官
在滿洲國大使館視學官
在滿洲國大使館技師
在滿洲國大使館體育官」
ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由

在滿洲國大使館ノ教務官、視學官、技師及體育官ノ俸給ハ高等官官等俸給令別表第二表第一號ニ依ルノ必要アルニ由ル



9150-6

110



9150-6 109

I-0352

0067

朕在滿洲國大使館ノ教務職員ノ在勤加俸ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム



御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
務大臣

勅令第 號

第一條 在滿洲國大使館ノ教務職員タル文官ニハ本令ニ依リ在勤加俸ヲ
給ス

第二條 在滿洲國大使館ノ教務職員タル高等官ノ在勤加俸ハ本俸ノ十
分ノ五トシ判任官ノ在勤加俸ハ十分ノ八トス

第三條 在勤加俸ノ支給ニ付テハ本俸ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



9150-6 111



9150-6 112

I-0352

0068

理由

在滿洲國大使館ノ教務職員タル文官ノ本俸以外ノ俸給ニ付テハ一般在外
公館職員ノ例ニ依ラズ在勤加俸トシテ別ニ定ムルノ必要アルニ由ル



在滿洲國大使館令公布式

在滿洲國大使館令公布式左ノ通定ム

第一條 在滿洲國大使館令ハ在滿洲國大使館令ナルコトヲ明記シ滿洲國

駐劄特命全權大使之ニ署名シ公布ノ年月日ヲ記入シテ之ヲ公布ス

第二條 大使館令ヲ公布スル方法ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 大使館令ハ特ニ施行期日ヲ掲クルモノヲ除クノ外公布ノ日ヨリ

起算シ滿七日ヲ經テ之ヲ施行ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(大塚 幸三)



9150-6 114



9150-6 113

I-0352

0069

滿洲國內ニ於ケル神社及教育ニ關スル
事務等ノ件 (勅令案)

朕滿洲國內ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務等ノ件ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム (總理大臣外務大臣副署)

第一條 昭和十二年 月 日 閣印セラレタル (滄外決權ノ撤
廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ關スル) 日本國
滿洲國關係約附屬第一協定ノ規定ニ依リ帝國ニ保有セル滿洲國
内ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ニ付テハ内閣總理大臣及外
務大臣ノ監督ヲ承ケ滿洲國駐節特命全權大使之ヲ管理ス
第二條 大使ハ前條ノ權限ヲ行フニ付職權又ハ特別ノ委任ニ依リ
必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 115

第三條 大使ハ第一條ノ權限ニ屬スル事項ヲ行フ爲ノ附屬職員ヲ
統督シ委任官ノ進退ハ外務大臣ヲ經テ之ヲ上奏シ判任官ノ進退
ハ之ヲ專行ス

第四條 大使ハ外務大臣ヲ經テ前條ニ規定スル附屬職員ノ地位級
勲ヲ上奏ス

第五條 第一條ノ事務ニ從事セシムル爲在滿洲國大使館ニ左ノ職
員ヲ置ク

- | | | |
|------|------|----|
| 教務官 | 專任三人 | 奏任 |
| 視學官 | 專任二人 | 奏任 |
| 技師 | 專任一人 | 奏任 |
| 體育官 | | |
| 教務書記 | 專任九人 | 列任 |

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 116

I-0352

0030

視 學 專任五人 判任
 技 手 專任二人 判任
 體育官補 專任一人 判任
 勅任ノ官ニ在ル者職務官ニ兼任セラルル場合ハ之ヲ勅任ト爲スコトヲ得
 第六條 教務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
 第七條 視學官ハ上官ノ命ヲ承ケ學事ニ關スル觀察及事務ヲ掌ル
 第八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
 第九條 體育官ハ奏任トシ上官ノ命ヲ承ケ學校體育ニ關スル觀察及事務ヲ掌ル
 第十條 教務書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 117

第十一條 視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ニ關スル觀察及事務ニ從事ス
 第十二條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス
 第十三條 體育官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學校體育ニ從事ス
 第十四條 朝鮮臺灣滿洲樺太及南洋群島在勤文官加俸令ハ第五條ノ職員ニ付之ヲ準用ス
 附 則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 118

I-0352

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ滿洲國駐劄特命全權大使ノ神社及教育事務ニ
關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

第一條 滿洲國駐劄特命全權大使ハ昭和十二年 月 日調印ノ治外

法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ關スル日本國

滿洲國間條約(假稱)附屬第一協定ノ規定ニ依リ帝國ニ保有セル滿洲

國地ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ヲ管理スベシ

大使ハ前項ノ事務ニ付内閣總理大臣及外務大臣ノ指揮監督ヲ承クベシ

第二條 大使ハ前條第一項ノ事務ニ付其ノ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ必

葉ナル命令ヲ發スルコトヲ得

大使ノ發スル命令ニハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ノ罰則ヲ附ス

ルコトヲ得

大使ノ發スル命令ノ公布ニ關スル規程ハ大使之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



9150-6

120



9150-6

119

I-0352

0072

理由

治外法權撤廢並ニ南滿洲鐵道附屬地行政權移讓後帝國ニ保留セラ
ルル神社及教育ニ關スル事務ハ之ヲ滿洲國駐節特命全權大使ヲシ
テ管理セシムルト共ニ其ノ指揮監督ハ特ニ外務大臣ノ外内閣總理
大臣ヲ加ヘ兩大臣ノ共管タラシメ且大使ヲシテ同事務ニ付命令ヲ
發スルコトヲ得シムルノ要アルニ由ル

在滿日本帝國大使館



9150-6 121

說明書

從來滿洲國ニ於ケル神社及教育ニ關スル事務ハ南滿洲鐵道附屬地
内外各其ノ所管ノ系統ニ從ヒ附屬地内ニ在リテハ關東局ノ長トシ
テ滿洲國駐節特命全權大使之ヲ管理シ附屬地外ニ在リテハ外務大
臣、大使ノ指揮監督ノ下ニ各地領事官之ヲ掌理シ來レル處治外法
權撤廢並附屬地行政權移讓後帝國ニ保留セララルル神社及教育行政
ハ其ノ所管ノ系統單一化セララルルシテ同事務ハ滿洲ノ新事業ニ關
ミ新ニ大使ヲシテ管理セシムルト共ニ之ガ指揮監督ヲ特ニ外務大
臣ノ外内閣總理大臣ヲ加ヘ兩大臣ノ共管タラシムルコトトシ且同
事務ニ付大使ヲシテ命令ヲ發シ必要ニ依リ之ニ關則テ附スルコト
ヲ得シムルノ權限ヲ附與スルト共ニ右命令ノ公布式ヲ定メ廢ルノ
途ヲ講ゼントス

在滿日本帝國大使館



9150-6 122

I-0352

0073



朕在滿洲國大使館ニ教務^{官等}職員ヲ置クノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

滿洲國^テ於^テ神社及教育ニ關スル事務ニ從事セシムル爲在滿洲國大使館ニ左ノ職員ヲ置ク

教務官	專任三人	奏任
視學官	專任二人	奏任
技師	專任一人	奏任
體育官		



9150-6 123

教務書記 專任九人 判任

視學 專任五人 判任

技手 專任二人 判任

體育官補 專任一人 判任

勅任ノ官ニ在ル者教務官ニ兼任セララルル場合ハ之ヲ勅任ト爲スコトヲ得
體育官ハ奏任トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



9150-6 124

I-0352

0074

理由

治外法權撤廢並ニ南滿洲鐵道附屬地行政權移讓後帝國ニ保留セラ
ルル神社及教育ニ關スル事務ハ在滿洲國大使館ニ於テ之ヲ掌理ス
ルニ伴ヒ該事務ニ從事セシムル爲同館ニ教務官專任三人、視學官專
任二人、技師專任一人、體育官、教務書記專任九人、視學專任五
人、技手專任二人及體育官補專任一人ヲ置クノ要アルニ由ル

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 125

説明書

治外法權撤廢並ニ南滿洲鐵道附屬地行政權移讓後帝國ニ保留セラ
ル、神社及教育ニ關スル事務ハ在滿洲國大使館ニ於テ之ヲ掌理ス
ル處事務後日本人ノ急激ナル發展ニ伴ヒ此等ニ關スル行政事務ハ
愈々繁多ヲ加フルト共ニ頓ニ其ノ重要性ヲ加ヘタリ
而シテ此等ニ關スル事務ニ從事セシムル爲大使館ニ勅任官タル教
務官一人、奏任官タル教務官六人、視學官三人、技師二人及體育
官一人、判任官タル教務書記十四人、視學八人、技手三人及體育
官補一人ヲ置クノ要アル處右ノ中勅任官タル教務官ハ當分ノ中關
東局職員ヲシテ兼任セシメ奏任官タル教務官三人、視學官一人、
技師一人及體育官一人、判任官タル教務書記五人、視學三人及技
手一人ハ關東州及朝鮮ニ於ケル神社及教育事務トノ聯繫ヲ考慮シ
關東局及朝鮮總督府ノ神社及教育事務關係職員中ヨリ兼任セシム

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 126

I-0352

0075

ルヲ以テ專任トシテ奏任官タル教務官三人、視學官二人及技師一人、判任官タル教務書記九人、視學五人、技手二人及体育官補一人ヲ置カントス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 127

I-0352

0076



7-1-1-1-3

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ在滿洲國大使館教務官等ニ關スル件ヲ裁
可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

在滿洲國大使館教務官、視學官、技師、體育官、教務書記、視學、
技手及體育官補ハ關東局又ハ朝鮮總督府ノ文官ヲシテ之ヲ兼ネシ

在滿日本帝國大使館



9150-6 128

ムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

在滿日本帝國大使館



9150-6 129

I-0352

0077

理由

在滿洲國大使館ノ神社及教育事務ニ付テハ專任ノ教務官等ノ外國
東局又ハ朝鮮總督府ノ職員ヲ兼任セシメ之ニ從事セシムルノ要
ルニ由ル

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 130

説明書

在滿洲國大使館ノ神社及教育ニ關スル事務ニ付テハ專任ノ教務
官ノ外國東州及朝鮮ニ於ケル同事務トノ連絡ヲ考慮シ關東局又
ハ朝鮮總督府ノ職員ヲ兼任セシメ之ニ從事セシメントス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 131

I-0352

0078



朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

勅令第 號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第十四條中「外務省電信官」ノ次ニ

「在滿洲國大使館教務官
在滿洲國大使館視學官
在滿洲國大使館技師
在滿洲國大使館體育官」
ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由

在滿洲國大使館ノ教務官、視學官、技師及體育官ノ俸給ハ高等官官等俸給令別表第二表第一號ニ依ルノ由ルニ由ル



9150-6 133



9150-6 132

I-0352

0079

説 明 書

在滿洲國大使館教務官、視學官、技師及體育官ノ本俸ニ付テハ在
外公館職員タル高等文官ノ例ニ依ラズ兼任職員トノ均衡ヲ考慮シ
高等官等俸給令別表第二表第一號ニ依ラシメムトス

在滿日本帝國大使館



9150-6 134

I-0352

0080



朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

勅令第 號

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 135

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

別表第一表外務省ノ部中大使館商務書記官公使館商務書記官ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

在滿洲國大使館 教育官	在滿洲國大使館 技師	在滿洲國大使館 視學官	在滿洲國大使館 教務官
同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 136

I-0352

008 :

別表第三表中大使館商務書記官公使館商務書記官ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

在滿洲國大使館教務官				一級一八二〇
在滿洲國大使館視學官		一級五六六〇	一級三〇五〇	一級二四二〇
在滿洲國大使館技師	四〇五〇			二級一六五〇
在滿洲國大使館體育官		二級三〇〇〇	二級二七五〇	三級一四七〇
				四級一三〇〇
				五級一三〇〇

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 137

理由

在滿洲國大使館教務官、視學官、技師及體育官設置ニ伴ヒ之カ官等及俸給ヲ定ムル爲高等官官等俸給令別表第一表及第三表ヲ改ムルノ要アルニ由ル

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 138

I-0352

3382

説 明 書

在滿洲國大使館ノ教務官、視學官、技師及體育官ハ在外公館職員
ナルニ依リ官等ニ付テハ高等官官等俸給令別表第一表中大使館商
務官公使館商務書記官ノ項ノ次ニ加ヘ、俸給ニ付テハ別表第三表
中同シク大使館商務官公使館商務書記官ノ項ノ次ニ加フルコト
シ兼任職員トノ均衡ヲ考慮シ官等ハ七等以上三等以下トシ俸給ハ
高等官官等俸給令別表第二表第一號ニ依フ等第メテ同調ナラシメ
ムトス

在滿日本帝國大使館



9150-6 139

I-0352

0083

甲案
五
朕在滿洲國大使館ノ教務職員ノ在勤加俸ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

勅令
第 〇〇 號

昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 〇〇 號

第一條 在滿洲國大使館ノ教務官、視學官、技師、體育官、教務書記、視學手、技手及體育官補
給ス

第二條 在滿洲國大使館ノ教務職員ニハ高等官ノ在勤加俸ハ本俸ノ十分
ノ五以内ノ列任官ノ在勤加俸ハ十分ノ八以内トシ其ノ額ハ外務大臣之ラ定ム但シ
第三條 在勤加俸ノ支給ニ付テハ本俸ニ關スル規定ヲ準用ス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



9150-6 141



9150-6 140

I-0352

0084

在滿洲國大使館 (教務官、視學官、技師、體育官、教務書記、視學技師及體育官補)
 公館職員ノ例ニ依ラズ在滿加俸トシテ別ニ定ムルノ必要アルニ由ル
之ヲ

說 明 書

在滿洲國大使館教務官、視學官、技師、體育官、教務書記、視
 學、技師及體育官補ノ本俸以外ノ俸給ニ付テハ兼任職員トノ均
 衡ヲ考慮シ在外公館職員ノ例ニ依ラズ別ニ之ヲ定メントス

在滿日本帝國大使館

S 9150-6 143

S 9150-6 142

I-0352

0085



在滿洲國大使館令公布式 (大使之ヲ定ム)

在滿洲國大使館令公布式左ノ通定ム

- 第一條 在滿洲國大使館令ハ在滿洲國大使館令ナルコトヲ明記シ滿洲國駐節特命全權大使之ニ署名シ公布ノ年月日ヲ記入シテ之ヲ公布ス
- 第二條 大使館令ヲ公布スル方法ハ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 大使館令ハ特ニ施行期日ヲ掲グルモノヲ除クノ外公布ノ日ヨリ起算シ滿七日ヲ經テ之ヲ施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參考



9150-6 144

I-0352

0086

内閣府経理 第一六六号
事務課
昭和十二年十月五日

十一号
昭和十二年十月八日起草

文書課長
文書課發途
昭和十二年十月五日
發途済
淨書

人事課長
昭和十二年十月五日

主任
昭和十二年十月五日

正校(原稿)
淨書

内閣府

内閣府

内閣書記

外務大臣
外務大臣

(分類) 條約局長
條約課長

本(三内) 在記小件別紙案文、通勅令御發布相成
候様致度以改及請議候也

上信 甲乙丙丁 備考

公 信 案

外 務 省

S 9150-6 145

I-0352

0087

信 附 甲 乙 丙 丁 備考

(分類 I / 1. 1. 0. 1. 5. 1.)

外務大臣 次官 東亞局長 東亞二課長 東亞三課長 條約局長 條約二課長

受 信 人 名 件 名

近衛内閣總理大臣

滿洲國駐特別代表會推大使、神社及教育事務顧問外務省請願件

本 (三箇) 左記小件別紙案文、通勅令御發布相成

候 様 致 度 以 及 請 議 候 也

名 件 録 記 名 人 信 發

近衛内閣總理大臣 廣田外務大臣 尾崎大藏大臣 河野正三

外 務 省

S 9150-6 145

原稿 (淨書)

二十二年十月十八日起草

閣内事務 雅第 號

I-0352

3388

本
m
1
2
0
2

國務院
總務課
第一六號
昭和十二年十月五日

課發送 昭和十二年五月五日 發送済 淨書

正校(原稿) (淨書)
昭和十二年十月十八日起草

主任
昭和十二年十月五日

國務院大臣
外務大臣

内閣總理大臣

閣議長官

内閣書記官長

川島 雄三

三原 武夫

分類I

發信用執務用

信 附 甲 乙 丙 丁 備 考

4 50 54
4 50 54

本案法則向一提出後別紙
修正草案(通改)修正
大意

及請議候也

本
在
此
件
別
紙
案
文
、
通
勅
令
御
發
布
相
成

海防河駐劄對岸全權大使神社及教育中務主任外務清澤

公 信 案

外 務 省

S 9150-6 145

I-0352

0090

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ滿洲國駐劄特命全權大使ノ神社及教育事務ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

第一條 滿洲國駐劄特命全權大使ハ昭和十二年十一月 日調印

ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ移讓ニ關スル日本國滿洲國間條約附屬協定(甲)ノ規定ニ依リ帝國ガ滿洲國ニ於テ行フ神社及教育ニ關スル事務ヲ管理スベシ
大使ハ前項ノ事務ニ付内閣總理大臣及外務大臣ノ指揮監督ヲ承クベシ
前項内閣總理大臣ノ管掌ニ屬スル事項ハ對滿事務局ニ於テ之ヲ行

S 9150-6 146

フ

第二條 大使ハ前條第一項ノ事務ニ付命令ヲ發スルコトヲ得

大使ノ發スル命令ニハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

大使ノ發スル命令ノ公布ニ關スル規程ハ大使之ヲ定ム
附 則

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

S 9150-6 147

理由

治外法權撤廢並ニ南滿洲鐵道附屬地行政權移讓後帝國ニ於テ行フ神
社及教育ニ關スル事務ハ之ヲ滿洲國駐劄特命全權大使ヲシテ管理セ
シムルト共ニ其ノ指揮監督ハ内閣總理大臣及外務大臣ノ共管タラシ
メ且大使ヲシテ同事務ニ付命令ヲ發スルコトヲ得シムルノ要アルニ
由
ル



9150-6 148

I-0352

0092

發信用	執務用	
上信	50	54
附甲	50	54
乙		
丙		
丁		
備考		

公文書案	受信人姓名	近衛内閣總理大臣
	件名	在滿洲國大使館之教務官等ノ置ク、件外六件請議ノ件 左記七 基件ニ關シ副總領事文ノ通知令部外相候様 報口口及請候候也
外務省	發信人姓名	廣田外務大臣
	件名	
	機密	第一〇九
	號	昭昭和拾貳年十一月五日
	日附	附屬
	主任	昭昭和拾貳年十一月五日
	淨書	正校(原稿) 淨書
	淨書	昭昭和十二年十一月五日
	淨書	昭昭和十二年十一月五日

S 9150-6 149

I-0352

0093

發信用	執務用	
上信	4	50 54
附甲	2	50 56
乙		
丙		
丁		
備考		

本
館
合
計
地
元
門
牌
第
一
〇
二
之
三

本案、法制局へ提出後別紙
修正案を以て改訂せらるる
為念

初日以後及請候候也

大使館、教務官等、置々件外六件請議、件
別紙案文、通令部外相候候様

文書課長

文書課發送

昭
和
拾
貳
年
拾
二
月
五
日

主
任

淨書 山下 正(原稿) (淨書)

昭
和
十
二
年
十
一
月
五
日
起
草

機
密
第
一
〇
二
之
三

昭
和
拾
貳
年
十
二
月
五
日
日
附
一
附
屬

廣
田
外
務
大
臣

名件録記 名人信發

外
務
省

9150-6 149

I-0352

0094

- 一 滿洲國駐劄特命全權大使ノ神社及教育事務ニ關スル件
- 二 在滿洲國大使館ニ教務官等ヲ置クノ件
- 三 在滿洲國大使館教務官等ニ關スル件
- 四 高等官官等俸給令中改正ノ件
- 五 在滿洲國大使館教務官等ノ在勤加俸ニ關スル件
- 六 在滿洲國大使館教務官等ノ特別任用ニ關スル件
- 七 昭和十二年勅令第 號第一條ノ規定ニ依リ在滿洲國大使館教務官等ニ任用セララルル者ノ官等ニ關スル件
- 八 在滿洲國大使館視學官ノ特別任用ニ關スル件

S 9150-6 150

朕在滿洲國大使館ニ教務官等ヲ置クノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

第一條 滿洲國ニ於テ神社及教育ニ關スル事務ニ從事セシムル爲ニ在滿洲國大使館ニ左ノ職員ヲ置ク

教務書記	專任八人	判任
體育官	專任一人	奏任
視學官	專任二人	奏任
技術師	專任一人	奏任
教務官	專任二人	奏任

S 9150-6 151

I-0352

0095

視學 專任五人 判任
 技手 專任二人 判任
 體育官補 專任一人 判任
 勅任ノ官ニ在ル者教務官ニ兼任セラルル場合ハ之ヲ勅任ト爲スコトヲ得

體育官ハ奏任トス

- 第二條 滿洲國駐劄特命全權大使ハ前條ノ職員ヲ統督ス
- 第三條 教務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
- 第四條 視學官ハ上官ノ命ヲ承ケ學事ニ關スル視察及事務ヲ掌ル
- 第五條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
- 第六條 體育官ハ上官ノ命ヲ承ケ學校體育ニ關スル視察及事務ヲ掌ル
- 第七條 教務書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第八條 視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ニ關スル視察及事務ニ従事ス

S 9150-6 152

- 第九條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス
- 第十條 體育官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學校體育ニ従事ス

附則

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

S 9150-6 153

I-0352

0096

理由

治外法權撤廢並ニ南滿洲鐵道附屬地行政權移讓後帝國ニ於テ行フ神
社及教育ニ關スル事務ハ在滿洲國大使館ニ於テ之ヲ掌理スルニ伴ヒ
該事務ニ從事セシムル爲同館ニ教務官專任二人、視學官專任二人、
技師專任一人、體育官、教務書記專任八人、視學專任五人、技手專
任二人及體育官補專任一人ヲ置キ且其ノ職務權限ヲ定ムルノ用アル
ニ由ル

S 9150-6 154

朕在滿洲國大使館教務官等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

外務大臣

勅令第 號

在滿洲國大使館教務官・視學官・技師・體育官・教務書記・視學・
技手及體育官補ハ關東局又ハ朝鮮總督府ノ文官ヲシテ之ヲ兼ネシム
ルコトヲ得

S 9150-6 155

I-0352

0092

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

S 9150-6 156

理由

在滿洲國大使館ノ神社及教育事務ニ付テハ專任ノ教務官等ノ外關東局又ハ朝鮮總督府ノ職員ヲ兼任セシメ之ニ從事セシムルノ要アルニ由ル

S 9150-6 157

I-0352

0098

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

勅令第 號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第十四條中「外務省電信官」ノ次ニ

「在滿洲國大使館教務官
在滿洲國大使館視學官
在滿洲國大使館技師
在滿洲國大使館體育官」
ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス



9150-6 158

理由

在滿洲國大使館ノ教務官、視學官、技師及體育官ノ本俸ハ高等官官
等俸給令別表第二表第一號ニ依ルノ要アルニ由ル



9150-6 159

I-0352

0099

朕在滿洲國大使館教務官等ノ在勤加俸ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

御 名 御 璽

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

第一條 在滿洲國大使館教務官・視學官・技師・體育官・教務書記・

視學・技手及體育官補ニハ本令ニ依リ在勤加俸ヲ給ス

第二條 高等官ノ在勤加俸ハ本俸ノ十分ノ五以内・判任官ノ在勤加

俸ハ十分ノ八以内トシ其ノ額ハ外務大臣之ヲ定ム但シ六級俸以下

ノ判任官ノ在勤加俸ハ月額七拾圓迄ヲ給スルコトヲ得

第三條 在勤加俸ノ支給ニ付テハ本俸ニ關スル規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

理 由

在滿洲國大使館教務官・視學官・技師・體育官・教務書記・視學・
技手及體育官補ノ本俸以外ノ俸給ニ付テハ在外公館職員ノ例ニ依ラ
ズ別ニ之ヲ定ムルノ要アルニ由ル



9150-6

161



9150-6

160

I-0352

0:00

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ在滿洲國大使館教務官等ノ特別任用ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

以
外

勅令第 號

第一條 昭和十二年勅令第 號ニ規定スル高等官及現學官ニ於ケル神社若ハ教育ニ關スル事務ニ從事シ三年以上神社若ハ教育ニ關スル事務ニ從事シタル者又ハ滿洲國內ニ於テ三年以上教育ニ從事シ相當ノ學識經驗アル者ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

S 9150-6 162

前項ニ規定シタル各職ノ在職年數ハ之ヲ通算ス

第二條 昭和十二年勅令第 號ニ規定スル州任官及現學官ハ同令施行ノ際現ニ南滿洲鐵道株式會社ノ職員トシテ滿洲國內ニ於ケル神社若ハ教育ニ關スル事務ニ從事シ三年以上神社若ハ教育ニ關スル事務ニ從事シタル者又ハ滿洲國內ニ於テ三年以上教育ニ從事シ相當ノ學識經驗アル者ヨリ普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ニ規定シタル各職ノ在職年數ハ之ヲ通算ス

第三條 前二條ノ規定ハ昭和十二年勅令第 號施行ノ日ヨリ一年ヲ限り之ヲ適用ス

S 9150-6 163

附 則

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

I-0352

理由

在滿洲國大使館教務職員ハ其ノ職員設置後一年ヲ限り南滿洲鐵道株式會社ノ職員等ノ中ヨリ文官任用令第五條及第六條ノ規定ニ拘ラズ任用スル途ヲ講ズルノ要アルニ依ル

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ昭和十二年勅令第 號第一條ノ規定ニ依リ在滿洲國大使館教務官等ニ任用セラルル者ノ官等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

昭和十二年勅令第 號第一條ノ規定ニ依リ南滿洲鐵道株式會社ノ職員等ヲ在滿洲國大使館教務官又ハ南滿洲鐵道株式會社ニ任用スル場合ニ於テハ高等官官等俸給令第四條ノ規定ヲ適用セス

附則

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

S 9150-6 165

S 9150-6 164

理由
 在滿洲國大使館ノ教務官又ハ視學官ニ南滿洲鐵道株式會社ノ職員等
 ヲ任用スル場合ニ於ケル初叙官等ハ高等官官等俸給令第四條ノ規定
 ニ拘ラズ之ヲ定メ得ル途ヲ講ズルノ要アルニ依ル

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ在滿洲國大使館視學官ノ特別任用ニ關スル
 件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和 年 月 日

内閣總理大臣
 外務大臣

勅令第 號

第一條 在滿洲國大使館視學官ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ
 高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得
 一 文部省督學官、朝鮮總督府視學官、臺灣總督府視學官又ハ關
 東局視學官ノ職ニ在リタル者
 二 三年以上奏任官又ハ奏任官待遇以上ノ學校長、教官、教員又
 ハ教育事務ニ從事スル職員ノ職ニ在リタル者

S 9150-6 167

S 9150-6 166

I-0352

0:03

三 五年以上判任官又ハ判任官待遇ノ學校長、教官、教員又ハ教育事務ニ従事スル職員ノ職ニ在リテ月額百二十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者

第二條 前條第二號及第三號ニ規定シタル各職ノ在職年數ハ之ヲ通算ス但シ所要ノ在職年數ヲ異ニスル各職ノ在職年數ヲ通算スル場合ニ於テハ甲職ノ在職年數ノ其ノ職ノ所要ノ在職年數ニ對スル比率ヲ乙職ノ所要ノ在職年數ニ乘ジテ得タル年數ヲ甲職ノ在職年數トシ之ヲ乙職ノ在職年數ニ通算ス

附則

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

理由

在滿洲國大使館視學官ハ文官任用令第五條ノ規定ニ拘ラズ任用スル途ヲ講ズルノ要アルニ依ル

S

9150-6

169

S

9150-6

168

I-0352

0:04